

Q 合併の住民投票条例は

A 時期と内容など検討中



▲岩清水選手に花束を贈り激励

Q1

合併について、広報には、「村では現在、当面は自立の方向で」とあるが、最近の県や盛岡市などの動向を含め、今後どのように対応していくか。また、三月議会で示した「秋頃に、住民投票条例制定を予定」の方針に変わりはないか。

A1

アンケート調査結果から「当面は自立の方向で」と考



高橋 盛佳 議員（新志会）

えますが、将来に影響する問題なので、県からの合併勧告があるなしに関わらず、住民の意思を定期的に確認して対処します。

また、秋頃に予定していた住民投票条例制定や、合併勧告にそった個別型か、合併勧告に限定しない常設型にするか、見直しも含め、現在検討中です。

苦情、要望真摯に受け止める

Q2

「地域社会アンケート」の『自由欄』に寄せられた住民の率直な声にどう応えるか。

A2

511件の苦情や要望、お褒めの言葉が寄せられ、一部は、6月5日号の広報に掲載しましたが、全てをHP等で公開するとともに、村民の思いを真摯に受け止め、対応可能なものは早急に取り組みます。対応困難な事項についても住民の理解が得られるように努めます。

北京オリンピック 岩清水選手村あげて応援

Q3

8月に開かれる北京オリンピックの女子サッカー日本代表チーム「なでしこジャパン」に、本村出身岩清水梓選手が正式決定されたら、村としてのどのような応援を考えているか。

A3

本村出身の岩清水選手には、是非北京オリンピックに出場していただきたいと思っています。

岩清水選手が「なでしこジャパン」の一員として、世界の大舞台で活躍することは、滝沢村の子ども達にとって大きな励みとなることから、村民が丸となって応援し、メダルを獲得できるよう頑張ってほしいと願っております。

Q 子どもへの読書推進は

A 新設の図書館から発信



佐藤 澄子 議員
(春緑クラブ)

本と触れ合うことによって子どもは言葉を覚え、感性を磨き、表現力、創造力を豊かにします。目には見えないあたたかさ、楽しさ、悲しさ、やさしさ、なるほど！それで？ようしーなど、こころの中に少しずつ元気を貯めてくれます。

子どもの成長過程の中に様々な本との出会いを大切にしてあげることが重要と捉え、児童図書室の整備事業に求められる期待は大きいものと感じます。

Q1 読書に親しめるような室内設定のポイントは何？

A1 子どもの利用に配慮するため、本棚の高さを低くしたり子どもの目線に合わせての室内設計や親子で気軽に楽しめる読み聞かせスペースなど工夫をしています。



▲絵本大好き

Q2 年齢に合わせた閲覧の工夫や子どもたちが立ち寄ってみたいような、入り口や廊下のレイアウトなど室外部分の気配りの考へは。

A2 閲覧の仕方は本の内容に合わせた区分にするなど、考慮中です。入り口、廊下の部分は考えておりませんでしたので今後、検討してみたいと思います。

Q3 本に親しむ機会を多く提供するために学校などの関係機関や市内の団体との連携、協力が大切になってくると思います。

保育園、幼稚園では絵本の貸し出しの工夫や、読み聞かせ啓発のためのお便りの発行などの取り組みをしていますし、病院や企業、地域公民館などでは本の設置をとおして、子どもが本に親しむ機会を提供しています。

この取り組みをさらに活かしていくことも児童図書室の役割であると捉えまます。

また、図書室を利用する子どもたちや保護者の方に充分に関することのできる人員配置の確保はできていますか。

A3 人員配置は現状を大きく変えることは困難と考えられますが一部委託の協力をいただき務めたいと思っています。

関係団体との協力・連携については今回の整備を契機とし、今後、たくさんの方の意向をお聞きしながら図書室からの発信を大切に捉え進めていきたいと思っています。